

1 基本項目	事務事業名	音楽のまちづくり推進事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	音楽のまちづくり推進事業					係名	生涯学習・文化係
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045
	事業期間	開始年度	平成14年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興				項	社会教育費
		施策名	施策32. 文化の振興				目	学びの森天神山交流館費
基本事業名	基本事業32-1. 芸術文化活動の推進				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)		
根拠法令					総合戦略との関連	関連あり(評価対象)		
アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(業務委託)				集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	魚津市を「音楽を愛する街」とするため、「おんがく広場@Senzoku魚津」への事業委託により、各種音楽事業を実施し、市民が音楽に気軽に親しめる環境を作り、当市の音楽文化の振興を図る。また、とやま室内楽フェスティバルや学びの森音楽祭を支援する。
	対象	市民、市内小中学生・保育園児・幼稚園児
	手段(活動指標)	「おんがく広場@Senzoku魚津」に事業を委託。公的施設での出前コンサート、保育園・幼稚園でのコンサート、小中学生に音楽指導とコンサートを行う。とやま室内楽フェスティバルや学びの森音楽祭を支援する。
	意図(成果指標)	市民に対し、身近に音楽を親しめる環境を作り出すことで、活気と潤いをもたらす。小中学生に対し、専門家による直接指導により、音楽に対する関心を高めるとともに、演奏技術をアップさせる。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H29年度	H30年度	R1年度			R2年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 事業数	件	34	52	50	13	26.0%	29
	② 事業支援数	件	2	2	1	1	100.0%	1
成果	① 音楽事業参加者数	人	3,472	3,296	3,500	1,600	45.7%	3,000
	② 芸術文化に触れる機会が多くなると思う市民の割合	%	28.4	33.9	37.0	26.6	71.9%	40.0

4 コスト情報	区分	単位	H29年度	H30年度	R1年度			R2年度	
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額	
事業費	事業費合計 (A)	円	2,719,718	2,719,721	2,487,132	2,267,807	-16.6%	2,418,000	
	財源内訳	①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他(使用料、雑入等)	円	107,500	70,000	80,000	56,500	-19.3%	80,000
	⑤一般財源	円	2,612,218	2,649,721	2,407,132	2,211,307	-16.5%	2,338,000	
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	2	
	②年間所要時間	時間	460	460	460	460	0.0%	300	
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	1,852,420	1,852,420	1,852,420	1,852,420	0.0%	1,208,100	
総費用(A+B)	円	4,572,138	4,572,141	4,339,552	4,120,227	-9.9%	3,626,100		

5 取組内容	令和元年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>○「おんがく広場@Senzoku魚津」へ事業委託し、各種音楽事業を実施した。</p> <p>市民のためのクラシック講座「オーケストラの楽しみ方」Vol.4を6月30日に、「合唱の楽しみ方」を8月15日に開催した。市民のための出前コンサートを12月1日、12月18日、2月9日の計4回、楽器無料体験を10月13日に実施した。小中学生のための音楽推進事業として、小学校では、声楽家らによる歌唱指導や卒業式に向けての合唱指導、朗読と馬頭琴コンサートは新型コロナウイルスの感染予防のため、予定していたすべての学校で開催できなかった。中学校では、合唱祭に向けての指導、西部中学校における合唱祭での審査やミニコンサートを行った。</p> <p>○とやま室内楽フェスティバルや学びの森音楽祭を支援した。</p>	

6 評価	評価の視点	H30評価	R1評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	1 次評価	妥当性	A		A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1
有効性		B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	②目的の妥当性	1	妥当である	
効率性		B	B	進め方等の改善が必要	③対象の妥当性	1	妥当である	
結果(課長総括)		B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	①目標達成度	3	低い・未実施	
2 次評価	今後の方針			保育園、幼稚園から小学生に向けて、本格的な音楽に親しむ機会を作ることで、情操教育にも効果が上がってきている。今後は市民のニーズを把握し、事業内容の見直しを図るとともに、事業の周知に取り組む必要がある。また、新型コロナウイルスの感染予防のため、事業の内容の再検討が必要。	②類似事業の有無	1	なし	
					③上位施策への貢献度	2	普通	
					①コスト効率	2	普通	
					②実施主体の適正化	1	適正である	
					③負担割合の適正化	1	適正である	

1 基本項目	事務事業名	新川文化ホール管理事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	新川文化ホール管理費					係名	生涯学習・文化係
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045
	事業期間	開始年度	平成6年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興				項	社会教育費
		施策名	施策32. 文化の振興				目	新川文化ホール費
		基本事業名	基本事業32-1. 芸術文化活動の推進				総合計画主な事業	
	根拠法令					総合戦略との関連		関連なし
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(指定管理者制度)				集中プランとの関連		関連なし

2 事業概要	事業概要	(公財)富山県文化振興財団を指定管理者とし、施設利用者が快適かつ安全に使用できるよう管理運営を委託。また、多彩な事業の実施を促し鑑賞と参加の機会を広く市民に提供する。
	対象	市民、各種団体等
	手段(活動指標)	(公財)富山県文化振興財団を指定管理者とし管理運営を委託。指定管理者において、施設維持管理や利用料金徴収業務のほか、多彩な自主企画事業や魅力ある市民文化祭・市美術展を実施する。
	意図(成果指標)	施設利用者(市民・文化団体・アーティスト等)が快適かつ安全に利用できる施設を維持する。施設を利用することにより文化活動が充実する。文化の情報と交流の場を市民に提供し、市民文化の創造及び振興を図る。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H29年度	H30年度	R1年度			R2年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 利用件数	件	2,699	2,882	3,300	2,534	76.8%	3,000
	② 利用料金	円	13,344,537	14,103,747	14,608,000	11,616,619	79.5%	14,743,000
成果	① 展示ホール利用率	%	62	67	70	52	74.3%	70
	② 和室・会議室利用率	%	23.3	24.8	30.0	26.0	86.7%	30.0

4 コスト情報	区分	単位	H29年度	H30年度	R1年度			R2年度	
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額	
事業費	事業費合計 (A)	円	99,672,804	90,719,000	75,112,000	74,423,000	-18.0%	77,727,000	
	財源内訳	①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円		13,500,000				
		④その他(使用料、雑入等)	円	173,183	198,640	172,000	175,801	-11.5%	936,000
	⑤一般財源	円	99,499,621	77,020,360	74,940,000	74,247,199	-3.6%	76,791,000	
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3	
	②年間所要時間	時間	540	540	540	540	0.0%	540	
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	2,174,580	2,174,580	2,174,580	2,174,580	0.0%	2,174,580	
総費用(A+B)	円	101,847,384	92,893,580	77,286,580	76,597,580	-17.5%	79,901,580		

5 取組内容	令和元年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>○指定管理者と協議の上、前回の指定管理から夏のイベント委託を1件削減(市負担分年間4,108千円の減額)した内容による基本協定書及び年度計画に基づき、指定管理者(公財)富山県文化振興財団へ指定管理料を支払った。指定管理者は施設の維持管理、利用料金徴収業務、委託イベントの開催、自主企画事業等を実施した。</p> <p>○魚津市民文化祭(10月26日、27日)、第59回魚津市美術展(11月2日~11月7日)を開催した。</p> <p>○利用料金の見直しを行った。</p>	

6 評価	評価の視点	H30評価	R1評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥当性	A	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である	②目的の妥当性
有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	③対象の妥当性	1 妥当である	①目標達成度	2 目標どおり	
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	②類似事業の有無	1 なし	③上位施策への貢献度	2 普通	
1次評価	結果(課長総括)	B	B	管理運営の進め方・内容について改善の余地あり	①コスト効率	2 普通	②実施主体の適正化	1 適正である
	今後の方針			市民が多様な芸術文化に触れるとともに、地域の文化資質の向上に貢献する施設となるよう指定管理者としっかり連携しながら事業をすすめていかなければならない。	③負担割合の適正化	1 適正である		

1 基本項目	事務事業名	芸術文化振興事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	芸術文化振興事業					係名	生涯学習・文化係
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045
	事業期間	開始年度	不明	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興				項	社会教育費
		施策名	施策32. 文化の振興				目	文化費
	基本事業名	基本事業32-1. 芸術文化活動の推進				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)	
	根拠法令					総合戦略との関連	関連あり(評価対象)	
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連あり	

2 事業概要	事業概要	市民に優れた音楽・舞台芸術等の鑑賞機会を提供し、文化芸術の裾野の拡大と振興を図る。文化団体の育成を図る。
	対象	①市民、②市内文化団体(文化協会、市美協)、③市内小中学生
	手段(活動目標)	国県等の補助事業を利用した公演を開催する。芸術文化団体や中学校文化連盟に補助金を交付し、活動を支援する。文化事業の後援・共催、文化芸術団体との連絡調整を行う。
	意図(成果目標)	①市民の芸術文化に対する関心が高まる。自らの芸術活動の活性化が図られる。②会員の資質及び活動への参加意欲の向上。③小中学生が芸術文化に親しむようになる。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H29年度	H30年度	R1年度			R2年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 国県等の補助事業開催数	件	4	9	5	3	60.0%	5	
	② 中学校文化連盟事業	件	12	11	12	12	100.0%	12	
	成果	① 文化祭への参加人数	人	4,698	4,278	6,000	4,471	74.5%	6,000
		② 市美展出品数(一般、招待)	点	213	188	240	193	80.4%	240

4 コスト情報	区分	単位	H29年度	H30年度	R1年度			R2年度	
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額	
事業費	事業費合計 (A)	円	956,400	1,249,516	2,467,000	2,345,366	87.7%	925,000	
	財源内訳	① 国庫支出金	円						
		② 県支出金	円						
		③ 地方債	円						
		④ その他(使用料、雑入等)	円	32,964	16,482	1,561,000	1,513,038	97.9%	39,000
⑤ 一般財源		円	923,436	1,233,034	906,000	832,328	-32.5%	886,000	
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3	
	② 年間所要時間	時間	600	600	600	600	0.0%	600	
	③ 人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	2,416,200	2,416,200	2,416,200	2,416,200	0.0%	2,416,200	
総費用(A+B)	円	3,372,600	3,665,716	4,883,200	4,761,566	29.9%	3,341,200		

5 取組内容	令和元年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>○国県等の補助事業を利用した公演(文化芸術による子供の育成事業等)を開催した。また、国県等の補助事業について、学校、新川文化ホール、新川学びの森天神山交流館、公民館等に照会し要望があれば申請を行った。</p> <p>○芸術文化団体や中学校文化連盟に補助金を交付し、活動を支援した。</p> <p>○魚津市文化振興基金を活用し、魚津市文化協会創立30周年記念事業(記念式典、記念講演会、記念祝賀会)を支援し、魚津市友好親善都市井原市の文化協会と連絡調整などを行った。</p> <p>○大平山濤作品「石佛(石佛は長い風雪に)」の修繕を行った。</p> <p>○文化事業の後援・共催の承認手続きを行った。</p>	

6 評価	評価の視点	H30評価	R1評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	6 評価	妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性
有効性		B	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	② 目的の妥当性	1 妥当である
効率性		C	B	進め方等の改善が必要	③ 対象の妥当性	1 妥当である
					① 目標達成度	2 目標どおり
1 次評価	結果(課長総括)	B	A	計画どおり事業を実施することが適当	② 類似事業の有無	1 なし
					③ 上位施策への貢献度	1 高い
1 次評価	今後の方針	○現状を維持	方針の説明等	幅広い市民が芸術文化に触れられる機会を拡大しながら、市内の芸術文化の振興に取り組む必要がある。	① コスト効率	2 普通
					○事業の拡充	② 実施主体の適正化
1 次評価	今後の方針	○事業の縮小	方針の説明等	幅広い市民が芸術文化に触れられる機会を拡大しながら、市内の芸術文化の振興に取り組む必要がある。	③ 負担割合の適正化	1 適正である
					○統合等の検討	2 不要
1 次評価	今後の方針	○終了又は廃止・休止	方針の説明等	幅広い市民が芸術文化に触れられる機会を拡大しながら、市内の芸術文化の振興に取り組む必要がある。	2 次評価	



1 基本項目	事務事業名	遺跡調査事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	遺跡調査事業					係名	生涯学習・文化係
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045
	事業期間	開始年度	不明	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興				項	社会教育費
		施策名	施策32. 文化の振興				目	文化費
		基本事業名	基本事業32-2. 地域の歴史や文化の保存・継承				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
	根拠法令	文化財保護法				総合戦略との関連	関連なし	
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし	

2 事業概要	事業概要	開発対象区内にある埋蔵文化財包蔵地において、遺跡の有無や範囲を確認するための試掘調査を行う。埋蔵文化財包蔵地の範囲確認のための、分布調査を実施する。松倉城跡の詳細調査を実施する。
	対象	開発対象地区内にある埋蔵文化財包蔵地等。
	手段(活動指標)	埋蔵文化財包蔵地内で開発行為が行われる場合には試掘調査を実施する。また、市内の埋蔵文化財包蔵地の分布調査や松倉城跡の詳細調査を実施する。
	意図(成果指標)	試掘結果に基づき、開発予定地内における本発掘調査の有無について判断する。市内分布調査についてはその結果の報告書を刊行する。松倉城跡の調査については、調査結果を取りまとめ、松倉城跡詳細調査指導委員会で報告する。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H29年度	H30年度	R1年度			R2年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 試掘調査実施件数	件	2	6	4	4	100.0%	4
	② 分布調査日数	日	10	0	7	6	85.7%	7
成果	① 試掘調査結果に基づく本発掘調査有無の判断件数	件	3	6	4	4	100.0%	4
	② 分布調査報告書の刊行	冊	1	0	1	1	100.0%	1

4 コスト情報	区分	単位	H29年度	H30年度	R1年度			R2年度	
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額	
事業費	事業費合計 (A)	円	7,631,790	10,594,256	5,980,000	4,087,715	-61.4%	6,480,000	
	財源内訳	①国庫支出金	円	3,500,000	3,500,000	2,500,000	1,900,000	-45.7%	2,950,000
		②県支出金	円	1,750,000	4,871,200	1,250,000	950,000	-80.5%	1,200,000
		③地方債	円						
		④その他(使用料、雑入等)	円		1,036	1,000			1,000
	⑤一般財源	円	2,381,790	2,222,020	2,229,000	1,237,715	-44.3%	2,329,000	
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3	
	②年間所要時間	時間	600	1,060	1,060	1,060	0.0%	1,060	
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	2,416,200	4,268,620	4,268,620	4,268,620	0.0%	4,268,620	
総費用(A+B)	円	10,047,990	14,862,876	10,248,620	8,356,335	-43.8%	10,748,620		

5 取組内容	令和元年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財包蔵地内における試掘調査を4件実施した。</li> <li>・市内遺跡詳細分布調査(片貝地区中心)を実施した。</li> <li>・松倉城跡の土地所有に関する地籍の調査を継続して実施した。</li> </ul>	

6 評価	評価の視点	H30評価	R1評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥当性	A	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である	②目的の妥当性
有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	③対象の妥当性	1 妥当である	①目標達成度	2 目標どおり	
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	②類似事業の有無	1 なし	③上位施策への貢献度	2 普通	
1次評価	結果(課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	①コスト効率	2 普通	②実施主体の適正化	1 適正である
	今後の方針			調査報告書によって学術的価値付けを行った松倉城跡について、今後、文化庁、富山県教育委員会に助言を得ながら国の指定史跡への取り組みに務めていく。	③負担割合の適正化	1 適正である		

1 基本項目	事務事業名	文化財保存事業			担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課		
	予算事業名	文化財保存事業				係名	生涯学習・文化係		
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1045		
	事業期間	開始年度	不明	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費	
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興				項	社会教育費	
		施策名	施策32. 文化の振興				目	文化費	
		基本事業名	基本事業32-2. 地域の歴史や文化の保存・継承				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)	
	根拠法令	文化財保護法				総合戦略との関連	関連あり(評価対象)		
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	市内にある文化財の保存・活用のため、説明看板や標柱、標識の設置を行う。 風水害による文化財の破損の際の調査、修繕を行う。 文化財の保存のための整備、補助、調査を行う。 国指定・重要無形文化財「魚津のタテモン行事」を安定的に開催するための協力、支援を行う。
	対象	市内の文化財
	手段(活動指標)	市内の文化財の保存・活用のために整備を行うと共に、伝統的な祭りの継承に努める。
	意図(成果指標)	市民の文化財の認知や保護への理解が深まり、適切に保存されるとともに、祭り等の伝統文化が継承される。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H29年度	H30年度	R1年度			R2年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 文化財保存活用のための整備・補助の件数	件	2	2	3	3	100.0%	3
	②							
成果	① 郷土の歴史や伝統が継承され、自然に育まれた文化が豊かであると思う市民の割合	%	58.7	67.0	70.0	49.5	70.7%	70.0
	② たてもん協力隊参加者数	人	299	357	300	301	100.3%	300

4 コスト情報	区分	単位	H29年度	H30年度	R1年度			R2年度	
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額	
事業費	事業費合計 (A)	円	9,587,189	3,941,513	6,971,200	5,677,844	44.1%	4,342,000	
	財源内訳	①国庫支出金	円						
		②県支出金	円	500,000		2,144,000	2,144,000		
		③地方債	円						
		④その他(使用料、雑入等)	円	500,000		1,600,000	1,600,000		2,490,000
	⑤一般財源	円	8,587,189	3,941,513	3,227,200	1,933,844	-50.9%	1,852,000	
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	4	4	4	4	0.0%	4	
	②年間所要時間	時間	1,240	1,240	1,240	1,240	0.0%	1,260	
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	4,993,480	4,993,480	4,993,480	4,993,480	0.0%	5,074,020	
総費用(A+B)	円	14,580,669	8,934,993	11,964,680	10,671,324	19.4%	9,416,020		

5 取組内容	令和元年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たてもん協力隊を300名募集し、祭りの運行に協力した。また、たてもん協力隊用の法被の作成を行った。</li> <li>・たてもんの担ぎ手ボランティアを試行的に実施した。</li> <li>・たてもん協力隊に配布するたてもんTシャツを魚津高校(美術部)の協力を得ながら作成した。配布した余りは、埋没林博物館において販売を実施。</li> <li>・旧沢崎家住宅の保存修理事業を実施した。</li> <li>・東山円筒分水槽、魚津浦の蜃気楼(御旅屋跡)の登録に関する手続きを行い、令和元年11月に答申を受けた。</li> </ul>

6 評価	評価の視点	H30評価	R1評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥当性	妥当性	A		A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1
有効性		B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	②目的の妥当性	1	妥当である	
					③対象の妥当性	1	妥当である	
					①目標達成度	2	目標どおり	
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	②類似事業の有無	1	なし		
				③上位施策への貢献度	2	普通		
				①コスト効率	2	普通		
1次評価	結果(課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	②実施主体の適正化	1	適正である	
					③負担割合の適正化	1	適正である	
2次評価	今後の方針				不要			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現状を維持</li> <li>○事業の拡充</li> <li>○事業の縮小</li> <li>○統合等の検討</li> <li>○終了又は廃止・休止</li> </ul>	方針の説明等	指定文化財や今後保存すべき文化遺産に対して、現状把握と保存・整備・活用についてその地域と連携し、進めていく必要がある。また、ユネスコ無形文化遺産に登録の「魚津のタテモン行事」は、国を代表する祭りの1つとして、その保存と継承に努める責任があり、保存団体と市民、行政が一体となり、安定的運行と後継者育成、PRに努めていく。					

1 基本項目	事務事業名	たてもんと全国植樹祭レガシー事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	文化財保存事業					係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	平成29年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費	
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興				項	社会教育費	
		施策名	施策32. 文化の振興				目	文化費	
		基本事業名	基本事業32-2. 地域の歴史や文化の保存・継承				総合計画主な事業	記載なし	
	根拠法令					総合戦略との関連	関連あり(評価対象)		
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「たてもんの森」プロジェクト事業：平成29年度から3か年計画で地元産の木材でたてもんを製作することを目指して植樹し、「たてもんの森」を整備。</li> <li>◆後継者育成事業：祭りを支える伝統技術を伝承していくための後継者の育成経費を支援。</li> <li>◆運営支援事業：祭りの恒常的開催のため運営経費を支援。</li> </ul>
	対象	魚津市在住の小学生～大人
	手段(活動指標)	ユネスコ無形文化遺産に登録されたたてもん祭りを後世に継承していく意識を高める事業の推進
	意図(成果指標)	ユネスコ無形文化遺産に登録されたたてもん祭りが後世に安定的に継承される。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H29年度	H30年度	R1年度			R2年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① たてもんの森植樹祭参加者数	人	81	83	100	89	89.0%	0
	② たてもんの森に関わる事業の参加者数	人	81	83	100	89	89.0%	40
成果	① <small>郷土の歴史や伝統が継承され、自然に育まれた文化が豊かである、と思う市民の割合</small>	%	58.7	67.0	70.0	49.5	70.7%	70.0
	②							

4 コスト情報	区分	単位	H29年度	H30年度	R1年度			R2年度	
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額	
事業費	事業費合計 (A)	円	5,891,972	2,450,157	3,193,000	2,612,464	6.6%	3,469,000	
	財源内訳	①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他(使用料、雑入等)	円			3,100,000	1,400,000		2,490,000
	⑤一般財源	円	5,891,972	2,450,157	93,000	1,212,464	-50.5%	979,000	
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2	
	②年間所要時間	時間	800	800	800	800	0.0%	400	
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	3,221,600	3,221,600	3,221,600	3,221,600	0.0%	1,610,800	
総費用(A+B)	円	9,113,572	5,671,757	6,414,600	5,834,064	2.9%	5,079,800		

5 取組内容	令和元年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月2日、3日開催のたてもん祭りの開催にあわせて、引手のボランティアを募集、301名の参加を得た。</li> <li>・たてもん祭りの安定的開催のため、保存団体へ運営支援を行った。</li> <li>・11月9日「たてもんの森」プロジェクト植樹祭を開催。親子参加者46名、その他企業関係者含め89名の参加者を得た。</li> </ul>

6 評価	評価の視点	H30評価	R1評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥当性	A	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である	②目的の妥当性
有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評点への影響低い	③対象の妥当性	1 妥当である	①目標達成度	2 目標どおり	
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	②類似事業の有無	1 なし	③上位施策への貢献度	1 高い	
1次評価	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	①コスト効率	2 普通	②実施主体の適正化	1 適正である
	今後の方針	現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植樹イベント参加者の増と植樹会場の計画的な整備などを長期的視野に立って考え、実施していく必要がある。</li> <li>・植樹イベント以外に森に関わる人やたてもん祭り当日以外にもたてもんに関わる仕組みづくりのため、試行的な取り組みを実施。</li> </ul>	2次評価	不要		